

平成 25 年1月 29 日 00103 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-61-4804 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

ニューズレター年頭の御挨拶



特定非営利活動法人 北見市武道振興協会 理事 西尾静男

新年あけましておめでとうございます。本年10月には武道関係者の永年の夢であった武道館の完成、大変うれしく思います。これから益々進む少子高齢化の中で、武道8団体が一致団結して武道館を活発に利用し武道の素晴らしさを伝えて、健康で明るい社会づくりに少しでも貢献できることを願っております。



特定非営利活動法人 北見市武道振興協会 前理事 中崎孝俊

NPO 法人北見市武道振興協会の社員(会員)の皆様、新年明けましておめでとうございます。北見市武道館落成の希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。NPO 活動は緒についたばかりですが、信じる事を今一度大切に育てていただき、武道館はきっかけであります。武道各団体の更なる飛躍と、会員皆様のご健勝をご祈念します。



特定非営利活動法人 北見市武道振興協会 理事 宮末政則 北見市少林寺拳法協会 2013 年の抱負

2011年3月11日に発生した、東日本大震災や大津波による被災地復興のため、組織を挙げて協力し、恒例の行事も自粛、県大会等は中止して復興のために全エネルギーを注ぎました。私も3回程ボランティア活動に参加し、大自然の驚異にはあらためて恐ろしさを感じた2年でありました。当協会においては、少子化の影響等もあって会員数の減少により様々な行事にも影響が出てきています。特に今年は布教・普及活動にも取り組み、少林寺拳法の理解者や愛好者の入会等に尽力を注いで生きたいと考えています。今年は早々3月に道協賛による指導者講習会を北見市で予定し、網走管内少林寺拳法会員や興味のある方が参加できます。内容は教えと技術レベルの向上を図ることを目的に開催を予定しています。最後になりますが、念願の武道館が関係各位の皆様のご尽力により完成しますので管理運営等には全力を注ぎたいと思います。各武道団体の皆様におきましても、今年は飛躍の年でありますよう念願し、今年もご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いします。

【柔道情報】北見市で第6回光柔会杯少年柔道全道大会が開催

1月20日(日)北見市体育センターで第6回光柔会杯少年柔道全道大会が開催されました。全道各地より81チーム623名の選手が集まり技を競い合いました。小学生団体(低学年・高学年)・中学生団体戦と個人戦、幼児の部、小学1・2・3年生、小学4年生(-40kg・+40kg)、小学5年生(-45kg・+45kg)小学6年生(-50kg・+50kg)小学5・6年生女子、中学生男子-60、中学生男子-78、中学生男子+78、中学生女子の部に別れ盛大に行われました。



連載 宮本武蔵の「五輪書」 三 兵法の道より 地之巻

士卒というのは、大工のようなものである。自分の手で道具を研ぎ、責金・責木などをこしらえて、大工箱に入れて持つ。棟梁の言い付けを聞いて、柱の出っ張りを手斧で削り、床・棚を鉋(かんな)で削り、透かしや彫をし、寸法を正しくし、隅々の手の掛かる部分まで、手際よく仕上げるのが、大工の仕事というものである。自分の手で仕事を覚え、尺度を理解すれば、ゆくゆくは棟梁になれるだろう。大工で肝要なのは、よく切れる道具を持ち、暇をみては研ぐことである。つづく